

非接触 IC カードの JIS 改正

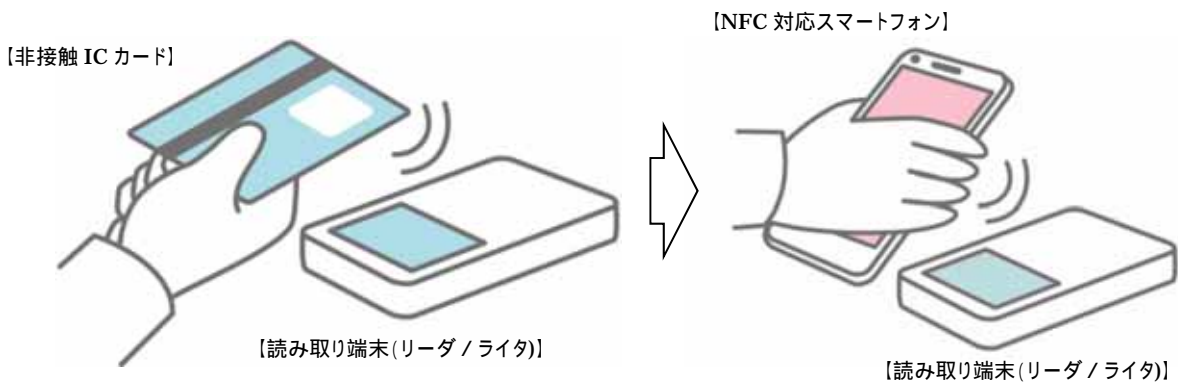
- 便利で安全な IC カード社会を目指して -

平成28年3月22日

我が国の公共交通カード及び電子マネーで広く使われている、高速処理を特徴とする日本発の非接触 IC カードに関する日本工業規格 [JISX6319-4 (IC カード実装仕様 - 第4部: 高速処理用近接型 IC カード)] について、改正を行いました。今回の改正では、近距離無線通信規格である NFC (Near Field Communication) に対応したスマートフォンに本 JIS で規定する非接触 IC カード機能を共存させるための追加と修正を行いました。この改正により、我が国で普及している電子マネー機能の様々なスマートフォンへの搭載が期待されます。

1. 規格改正の目的・背景

我が国の非接触 IC カードは、ラッシュ時の鉄道改札で膨大な人の入退場を迅速かつ円滑に処理する観点から、処理の速さと正確さを目的として発展してきました。一方、近年爆発的に普及したスマートフォンの中には NFC 規格に準拠した非接触 IC カード機能を持つものが出回るようになってきました。これまで、我が国の非接触 IC カードと NFC 対応スマートフォンとは、その利用目的の違いから、暗号方式が異なるなどの課題があり、メーカーの努力により独自の方法で共存させているのが実情でした。この状況を鑑みて(一社)日本 IC カードシステム利用促進協議会が中心となって JIS 改正に取り組み、規格として我が国の非接触 IC カードと NFC 規格との共存方法が整備されました。これにより我が国で普及している電子マネー機能の搭載など利便性を向上したスマートフォンの普及が一層進むことが期待されます。



2. 今回の規格改正の主なポイント

NFC 対応スマートフォン上での共存を実現するため、次の点について改正を行いました。

- 読取端末との通信の暗号化方式を選択できるようにしました。
- 共存させる上で考慮する必要がある技術的な説明を追加しました。
- 上記の変更・追加に併せた試験仕様を追加しました。

【担当】 経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 (03-3501-9287 内線 3428)
(課長)橋本道雄 (補佐)加藤誠司